

早稲田大学 スポーツ科学部 英語 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	90分
特徴・その他	人間科学部と違い大問が8題もあるが、 、 を除いてそのほとんどが法学部の問題形式を踏襲したものと思われる。ただ、 は完全に人間科学部の問題形式である。レベルは全体的には「やや易」だが、英文読解、文法問題と多岐にわたっていて量が多いのが特徴である。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
	英文読解問題 (左利きの謎)	法学部の出題パターン。段落ごとの内容真偽問題が中心。該当箇所をいかに速く探せるかがポイント。	標準
	英文読解問題 (詩の朗読の効用)	リード部分のある内容真偽問題。リード部分を押さえながら読み進めるとよい。	標準
	英文読解問題 (プレーリードッグの穴居の話)	センターで出題されるような内容。具体的に頭で英文の内容が描けるかがポイントの一つである。	やや易
	英文読解問題 (世界記録の変遷)	スポーツ科学部らしい問題。固有名詞がかなりあるが、英文自体は平易である。問題形式は完全に法学部パターン。段落要旨問題はキーセンテンスを探ることが重要で、ひとつひとつ英文を精読する必要はない。	やや易
	文法問題 (前置詞を入れる空所補充問題)	基礎から標準レベルの熟語が狙われている。	易
	文法問題 (不適切なものを選ばせる空所補充問題)	法学部で出題される問題形式。基礎的な文法力を問うている。	易

	<p>会話問題 （不適切なものを 選ばせる空所補充 問題）</p> <p>文法問題 （正誤問題）</p>	<p>選択肢は会話表現や熟語が盛りだくさんなので、会話問題ではあるが知識を問う問題。</p> <p>人間科学部の出題パターン。ただ、人科ほど難しくはない。かなり基本的な文法事項が狙われている。</p>	<p>標準</p> <p>標準</p>
--	--	--	---------------------

〔総合コメント〕

第一に注意すべきことは問題量が多いということである。時間内に終えるための工夫を考えておくこと。次に、法学部の出題形式が主となっているので、読解では段落要旨を意識した読みの訓練を心がけたい。レベルはすべてにおいて基礎から標準であるが、知識をしっかり頭に入れておかないと、思わぬところで間違ってしまう可能性のある問題が多いのも事実である。